

30字要約① まとめのことばで書く

名前：

点数： / 6問

日付：

見つける → 指さす → 言いかえる → つなぐ → 書く

きょうのルール 要約は「短く写す」ことではなく、**まとめのことば（抽象）を使って書き直す**こと。具体例は原則けずり、本文が用意したまとめのことばを核にすえる。

- ① この店では、雨の日にかさを貸し、荷物を預かり、ベンチで休めるようにしている。つまり、客が困らないための工夫を重ねている。

この内容を、二十字以内でまとめましょう。

- ② 兄は、朝はランニング、放課後は素振り、夜はストレッチを欠かさない。

「つまり、兄は〜。」の形で、二十字以内でまとめましょう。

- ③ 発表の前に、姉は原こうを書き直し、時間を計って読む練習をし、質問への答えも用意した。

この内容を「準備」という言葉を使って、二十五字以内でまとめましょう。

- ④ つばめは春に日本へ来て、家ののき先に巣を作り、ひなを育て、秋には南へ帰っていく。

この内容を、二十五字以内でまとめましょう。

- ⑤ 要約に、本文の具体例をたくさん残すとどうなりますか。

よい説明を選びましょう。 ア 字数が足りなくなり、だいたいなまとめが入らなくなる イ くわしくなるので、より良い要約になる

- ⑥ 「妹は、こまったときに、いつも、必ず、まっ先に、母に相談する。」

意味を変えずに、二十字以内に整えましょう。

- ① (例) この店は客が困らない工夫を重ねている。

ポイント 「かさ・荷物・ベンチ」はけずり、まとめのことばで。

- ② (例) つまり、兄は毎日体をきたえている。

- ③ (例) 姉は発表のために念入りに準備をした。

ポイント 指定語(準備)は必ず使う。

- ④ (例) つばめは春から秋を日本で過ごし、子育てをする。

- ⑤ ア

- ⑥ (例) 妹はこまるとまず母に相談する。

ポイント かさなる言葉(いつも・必ず・まっ先に)は一つに。

うちの方・先生へ(丸つけの窓)

具体例(かさ・くつ等)を答案に残していたら、まとめ直しを促してください。字数は句読点込みで数えます。

まちがえた問題は、「きょうのルール」にもどってもう一度。自分の答えが合っているか不安なときは、答案の写真を日本国語塾TOPまでお送りください。どこが良くて、どこで失点するのかを具体的にお伝えします。(無料相談：nihonkokugojuku.com ※URLは公開時に確定)